

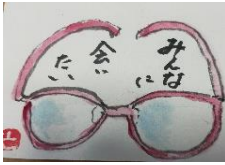
『みんなの田舎』 からのご報告 2021

家と畑を遺されて仕方なく始めた『みんなの田舎』ですが、5年経ちました！
心配してくれたり、応援してくれたりした皆さまに心からお礼申し上げます
実際はまだまだダメダメで、やらなければならない事に追いつきませんが、
やりたい事がちょっと見えてきた気がしてきて、もう少し頑張りたい気分です



みんなのサロン再開を待っています

「なくしたと思った眼鏡が出てきた」
って、参加者から絵手紙が届きました。
『会いたい』って
気持ちが嬉しくて、
早く再開したくて
たまりません。
「会いたい！」です



太陽光発電をはじめました！

サステナブルではありません
ただ停電の暗闇が怖かったからです



流し素麺の台が出来ました！

木工教室の大串先生が作ってくれました



がま 手作りピザ窯も来ました！

畑の野菜を使ってピザを作って
みんなで食べたいと思っています



仲間が増えちゃいました！

ザリガニ、ドジョウ、メダカ・・・
水の生物コーナー(?)が出来ました



遊び道具も集まりました

懐かしい竹馬やけん玉や幼児用の
乗り物などみんなで遊べる道具も
いつの間にか集まりました



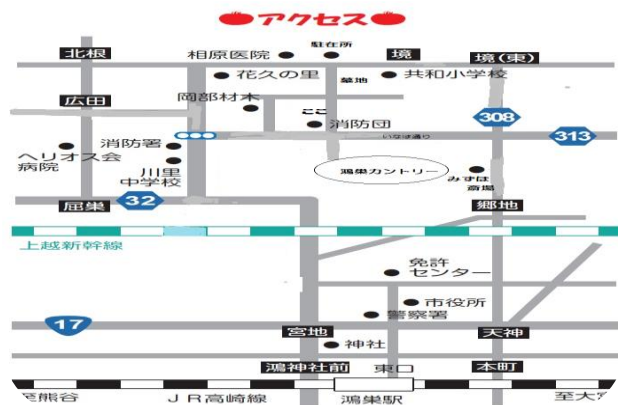
ペットボトルのフタや古切手や本等
を届けてくれる人が増えました。
善意の人が沢山いるんだって思え
て嬉しくなります。でも、わざわざ
みんなの田舎に送ってきたりしなく
ても、ペットボトルのフタはイオン等
でも回収していますし、古切手は
〒366-0811 深谷市人見 1665-3
ひとみ園 宛に直接送ってください

プルタブ(缶を開ける所のアルミ
の輪っか)も集めると車椅子もら
えるというので集めています。
詳しくは「環公害防止連絡協
議会」で調べてください

お陰様で本もたくさん集まって、いろ
んな世代の人が時間をつぶせる所に少
し近づきました。でも田舎の役割はバツ
タやカエルやトンボなど、昔は身近だ
った自然に触れてもらう事なのかもしれ
ません。花や虫達にも価値を感じます

みんなの田舎
体験型農園 minna no inaka

埼玉県鴻巣市新井 437 番地
事務局：070-55938402
<http://www.minnanoinaka.com>
JR 鴻巣駅東口から
フラワー号 共和コースで
共和小学校前下車 徒歩 5 分



※ 詳しくは『みんなの田舎』のホームページをご覧ください

人はみんな違うという事

トマトは砂糖をかけて食べるという人がいたって可笑しくないのに、自分と違うとなんか変な感じがしてしまったりする。みんな違って当たり前、正解は一つとは限らないって、色々な人と出会ううちに実感できた。「へえ〜」って思ったら真似しても良いし、「私はやっぱり塩」とか軽く談義するのも楽しいし。みんな同じじゃないから良いんだよね！

あきら

諦めたらおしまいという事

「ダメかもしれない」と、頭が考え始めると心はそれに逆らえないから、『やっぱりダメだあ』と諦めてしまう。どっちでもいい事ならそれでもいいのだけれど、やってみたいと思う事なら簡単に諦めない方が良いんじゃないかなあって、もう一回考えてみた方が後悔しないかもしれない。大事なことを決める時には頭じゃなくて心に聴いてみた方がイイみたい！

今更ですが… 気づいた事・学んだ事・へえ〜という事

時代が変わっているという事

いつの間にかカタカナ言葉が公用語(?)になっていたり、スマホを持ってないと置いてきぼりにされたり新しい物や事柄を避けては生きていけない時代になっていくような気がしてちょっと怖い。ゴキブリ以外の虫を見た事がないとか、オール電化で生の火を使った事がないとか…へえ〜って驚く。当たり前が当たり前でない時代になっている事も知らなくてはいけないんだろうなあ〜

大事なものは時間だって事

実はもう終活を真剣に考えているのだけれど、結局「時間もお金も無駄遣いできない」って焦りを感じる。でも、同世代の友人の訃報にふれたりすると「やっぱり時間だ」って事になる。自分が自分らしくいられるうちに、やりたいことをやり、会いたい人に会い、良い思い出を心に貯めておきたい。どうせ昔話をするのなら”メデタシメデタシ”と終われる話をたくさん持って年を取りたいと思うこの頃です。

みんなの田舎

メール：katatumuri365@yahoo.co.jp

渡邊 かつえ

住所：〒365-0011 鴻巣市新井 437 番地

電話：090-3536-4115

(おいでになる前には是非お電話下さい)

※ 水・土・日曜 10時～16時にお待ちしています

お近くにお越しの際はお立ち寄りください